

高雄日本人学校の風

校長 高口 和治

9月9日（火）

放課後の迎えの様子を見ていると意識して間に合うように迎えにきてくださる方が多くなってきました。

学校運営委員会がありました。1日から授業を再開して報告と中正小との「分電」の手続きがまだ終わっておらず。出費もまた増える旨を報告しました。

また、保護者代表からも「階段がどうも危ないので、修理をして欲しい」との話がでました。学校としてもそれは感じているので、申し入れをしたが、法的に難しいということと言われ、一度引っ込めたこととお話をしましたが、階段修理の見積もりをとって、修理の話を進めていくことになりました。

9月10日（水）

またまた体育の話。これで、体育は3時間目になります。1、2年生はドッジボールが題材になっています。1時間目は、なげるのもできない子もいました。前の校舎では、1、2年生でも動きがいい子どもが多いなと思っていました。当然と言えば、当然で、遊びですから、したい子どもがするので、どんどん上手になります。なかなか外に出たがらない子もいました。体育の時間を見ると、片手で投げられない子どもも女の子を中心にかなりいます。ですが、1時間目は、怖がってボールに触らない子も、2時間目の的当てゲーム、3時間目の取って投げるという時間でそれなりに様になってきました。私は、教頭先生の指示が子ども達に通って、その指示が運動としてできているか、アドバイスを担当です。あと、「おしっこ」に付き合ったり（3時間で2回トイレに付き合いました）けがをした子どもの手当にもどったりする役目です。たった、3時間ですが凄い成長です。

9月11日（木）

朝、中正の呉校長と一緒に朝の挨拶をしています。日本人学校の生徒はなれているので、普通に今までとかわりがありません。中正の子ども達は恥ずかしそうにしています。それでも、少しずつこちらの顔も分かってきて、挨拶を返してくれることが増えています。

陳先生（剣道の先生）が来校しました。学校が引越をしても指導をお願いしていました。中正からグラウンドを借りている時間帯と陳先生が空いている時間とは、都合よく同じで

はなかったので、工夫が必要でした。中村先生が細かな日程をお知らせして、打ち合わせに臨みました。場所も確認してもらい、大丈夫だということでした。

高雄師範大学付属の校長先生、校長先生の秘書、さらに、教務主任の先生が、引越お祝いと病気見舞い（私の腰痛に関して）に来てくれました。今年は、引越があり、中秋節の挨拶回りに行っていないので、気を遣って来ています。「中正との交流は始まりましたか？」「来週から、小学生に日本語を教えに行きます。」少しずつ仲良くなっていけばいいかと思うような話をしました。

火曜日の欄には、「意識して間に合うように迎えに来てくださる方・・・」とは、書きましたが、ほとんどの方が大丈夫なのですが、私達はバスが出て、10分後に校長や学部長などの打ち合わせ、その後、10分したら、全体の打ち合わせに入ります。御協力をお願いしますというしかありません。本日も打ち合わせが、下校時刻を30分すぎてもできない状態でした。さまざまなことに支障を来します。御協力をお願いします。

9月12日（金）

4年生とゴミ処理場の見学に行ってきました。仁武にあるものです。去年は、小港でした。以前も書きましたが、ゴミ問題に成功している国は珍しいのですが、台湾は、うまくいっている国の一つだと思います。以前、小学校4年生以上に「今のゴミ収集の基礎をつくった」荘さんの話を聞かせました。なにか、学習のきっかけになればと思います。

興味深い発見がありました。フランスの会社が運営しているというのです。荘さんの話を聞いたときには、日本のゴミは、ヨーロッパやアメリカと違い、湿っているゴミが多いのです。それなのに、フランス？という感じでした。子どもたちもいっぱい質問していましたが私も質問をしないと、社会科教師魂が泣きます。結果、運営を入札したのだそうです。機械は、三菱製などいくつか、日本の会社が入れているようです。燃やしたゴミの発電で57000戸の一年間の電力をまかなっています。いわゆる売電をしているのです。従業員も70人というのですから、すごい。私は、バイクと車の数を焼却場に入るときに数えたら合わせて40台くらいでした。燃やす部門は3交替制とのことですから、そんなものです。

質問がいっぱいで、説明の方は驚いていたようです。日本では、学習してからいきますので、当然の動きです。

中学部の期末テストが始まりました。お昼を食べながら、楽しそうに「むずかしい問題がいっぱいあった」とのこと。

